

■ 全体講評

IT ストラテジストの午後 I 試験は、記述式 4 問出題のうち 2 問を選択解答します。問 1 は、地方都市の医療情報連携システムについての問題、問 2 は、自治体のサービス拡大戦略の策定支援についての問題、問 3 は、ドラッグストアチェーンのシステム統合化計画に関する問題、問 4 は観光地向け案内ガイドの新製品企画についての問題です。このように、業種やテーマが広範囲にまたがって出題されています。自分の経験や知識を生かせるテーマを選んで解答することが大事ですが、ドメイン知識の有無は解答にそれほど影響ありません。あまり専門にこだわらずに、解答しやすい問題を選んでください。

試験では、問題を読んで即座に各問題での解答のしやすさや難易度を推定し、どの問題を選択するか適切な判断が望まれます。それぞれ長文の問題を読んで、すぐに設問に答えなければならないので、時間が足りなくなりがちです。短時間で解答しやすい問題を選ぶのも、能力のひとつになります。設問をよく読んで「何が要求されているか」をすばやく理解することが重要です。そのためには、いきなり問題文を読むのではなく、まず設問から読むことが有効です。その際は、設問を読みながらポイントとなるところにアンダーラインを引いて、設問内容を意識しながら問題文を読むことが重要です。

また、出題者の意図をよく考えて解答することも重要です。設問で何が問われているかを必ず確認し、ポイントになる内容を分かりやすく記述することです。今回の公開模試でも、設問で問われていないことを答えているものが多く見られました。

試験当日は、集中力、精神力、体力の勝負になるので、最後まで粘ってあきらめずに、必ず合格するという強い意識をもって臨むようにしましょう。

問1 地方都市の医療情報連携システム

【採点基準】

〔設問1〕

- (1)前半の問題の原因：FAX 共有による誤配送と廃棄という解答例の趣旨に添った解答であれば 3 点。後半の問題の原因：担当医師が訪問診療サービスで外出している旨を指摘した解答であれば 3 点。
- (2)電子カルテ情報あるいは受診している医療機関の情報を適切に表現した解答であれば 6 点。
- (3)患者の本人確認の実施に関して適切に表現していれば 6 点。

〔設問2〕

設備投資が不要あるいは平準化されること、及び可用性が高いことの趣旨に添った解答であれば各 6 点。

〔設問3〕

- (1)訪問している医師のカルテ記入、処方箋発行に適切に言及していれば 10 点。
- (2)保険証及び本人確認できることを適切に表現した解答であれば 10 点。

【講評】

地方医療での IT 活用の事例です。必然性のあるシチュエーションでの典型的な内容を問う問題で、取り組みやすかったと推測されます。取り組みやすかったものの、解答要点が散漫になりやすく注意が必要です。

設問 1 では、

- (1) 前半の問題の原因は、誤配送と廃棄による紛失の趣旨を押さえれば正解と解釈しました。片方だけなら半分です。解答例のような洗練された解答表現はなかなか見られませんでした。後半の問題の原因は比較的正答率が高かったです。
- (2) 解答要点を押さえた解答が正解で、情報を断片的にとらえている場合は半分の得点としました。
- (3) 解答要点を押さえた解答が多く、正答率が高かったと思います。

設問 2 では、

設備投資の削減・平準化とシステムの可用性が解答要点です。かなり限定的な解答表現は半分の得点にしました。

設問 3 では、

解答要点を押さえた解答は正解にしましたが、要点の不足や表現が甘い解答は半分の得点にしました。

問2 高齢化社会に対応した自治体のサービス拡大戦略の策定支援

【採点基準】

〔設問1〕

- (1)問題は、解答例そのものに対して 3 点。その他は、基本的に 0 点。対策は、スマートフォン購入の高齢者にスポーツ施設のチケット配布の趣旨を押さえれば 7 点。
- (2)町内会や自治会での回覧板の機能を解答例どおり表現できれば 7 点。

〔設問2〕

- (1)解答例そのものに対して 3 点。

(2)解答例どおりのセキュリティに言及した表現であれば7点。

【設問3】

(1)IT 活用室での講習会に関して適切に表現していれば7点。

(2)育児の対応方法の問題を適切に表現していれば8点。

(3)スマホによるコンテンツの配布を適切に表現していれば8点。

【講評】

サービス拡大戦略をテーマにした問題です。自治体の施策の策定について、問われています。解答要点をしっかり押さえれば高得点が期待できる問題です。

設問1では、

問題文の記述や表2から解答を抜き出す必要がありキーワードを押さえた解答を正解としています。

設問2では、

問題文の記述や表3から解答を抜き出す必要がありキーワードを押さえた解答を正解としています。

設問3では、

(1)はIT 活用室を利用して高齢者のIT リテラシーを向上させる趣旨を押さえる必要があります。

(2)は育児の対応方法を教えてほしいという問題をとらえて解答する必要があります。

(3)はスマートフォンの使い方、子育て世代から高齢者へのコンテンツを送りたい欲求をとらえて解答する必要があります。比較的正答率は高いですが、解答表現が甘い場合、得点を半分にしました。

問3 ドラッグストアチェーンのシステム統合化計画

【採点基準】

【設問1】

(1)期日までに決算報告書を開示する義務が解答要点。解答例と同様の趣旨に7点。

(2)「B社の端末と同等」、「セキュリティ対策」をきちんと解答して7点。

(3)要点をきちんと押さえて6点。

【設問2】

(1)物流システムとB社物流センターの連動、(2)変更の自由度、が解答要点。解答例に準じて(1)8点、(2)7点。

【設問3】

(1)店舗外で調剤薬局システムを利用できることを適切に解答して7点。

(2)医療従事者へ情報フィードバックすることが解答

要点。解答例に準じた解答に8点。

【講評】

ドラッグストアチェーンにおけるシステム統合化の問題です。問題文の記述をしっかりとらえ、適切に分析した上で、問題を解決するポイントを探り解答する必要があります。比較的取り組みやすい問題ですが、キーワードを押さえきれず何となく解答してしまうと得点が伸びません。注意深く取り組む必要があります。

設問1では、

(1)問題文の記述及び表1から「期日までに決算報告書を開示する義務」という要点が抽出できます。これについては、全て押さえて正解で、これが甘いと半分の得点にしました。

(2)問題文の記述からA社店舗のネットワークやPCの脆弱性が認識できます。このことを押さえてあれば正解にしました。

(3)店舗をまたいだ人員の配置を行うことを念頭に回答する必要があります。

設問2では、

(1)物流システムとB社物流センターの連動を指摘して正解です。余計な記述で散漫だと半分の得点にしました。

(2)リソースの変更の自由度が解答要点です。この解答要点を押さえて正解です。

設問3では、

(1)店舗外でもシステム利用できることが解答要点になります。インターネットというだけでは不十分です。この点を押さえる必要があります。

(2)関連する医療従事者へ、情報フィードバックすることが解答要点です。要点の定まらない散漫な解答表現が目立つので注意しましょう。

問4 観光地向け案内ガイドの新製品企画

【採点基準】

【設問1】

自転車走行の際の操作性が解答要点。要点を踏まえた解答に6点。表現が甘いと半分。

【設問2】

「複数の測位システム」、「電池の消耗」、「スマートフォン不所持者への提供」が解答要点。要点を踏まえた解答にそれぞれ8点。表現が甘いと半分。

【設問3】

(1)解答例の趣旨を適切に表現したものに対して2点。

(2)OSのバージョンをケアしなくてよい点を適切に表現すれば6点。表現が甘いと半分。

- (3)専用ハードウェアとスマートフォンの bluetooth による通信とメール受信の通知に言及できていれば各 6 点。

【講評】

音声ガイドの新製品企画に関する問題です。典型的な組込み製品の企画について考察する問題で、組込み系に馴染みがない方でも選択した人がいたように見受けられます。解答要点や表現が悩ましく、得点を伸ばせなかった人が多かったようです。

設問 1 では、

問題文の文脈から解答を導きます。記述が散漫なものが目につきました。自転車の走行に着目する必要があります。

設問 2 では、

設問 1 と同様な様相です。三点挙げて解答するため、散漫になりやすいので、よく整理して解答しましょう。

設問 3 では、

これも解答の散漫さが見られましたが、

(1)は問題文の記述に準拠することが大切です。

(2)これは理解できた人はしっかり要点を押さえて解答出来ていますが、見逃した人もかなりいました。問題文を精読しましょう。

(3)は正答率が大変低かったです。導出するのに考察が必要なのですが、手掛かりを基にまとめたいところではあります。

全体として、解答すべき要点を理解できても解答表現が拙く失点することに注意しましょう。問題文の記述や重要なキーワードについては敏感にとらえて解答するよう心掛けてください。

以上